

「富士山」に関する新聞記事を、ここ数ヵ月間の中からピックアップしました。



5.28毎日新聞 朝刊

「子供たちに環境教育を」
ふじさんネット
沼津で通常総会
富士山の自然環境を守るため昨年10月に設立した「ふじさんネットワーク」(会長、土塚一・静岡大名警教授)の通常総会が7日、沼津市大手町の県東部交流プラザで開かれた。新しい取り組みとして、会員らが

「田貫湖ふれあい自然塾」運営協議会設立・7月全国初オープン
4.29 静岡新聞朝刊

富士山に自然林復元を・ボランティア大作戦
770人が参加し苗植える
5.1 中日新聞朝刊

県がメールを発信「今」の富士山お届け
ふじのくに情報宅急便登録者を募集
5.4 静岡新聞朝刊

富士山のふもとを一周しよう・静岡県4市1町10月に開催
ふるって参加を
5.5 中日新聞朝刊

「折り紙ふじさん」考案・東京の佐藤さん白雪抱く姿イメージ
5.8 静岡新聞夕刊

連携して子供たちへの環境教育を進めることを決めた。
ネットワークは県内の自治体や自然保護グループ、企業など151団体・個人が加入。インターネットで富士山の情報を発信したり、情報誌を発行している。今年度からはさらに、会員が小中学校などで富士山に関する講演をしたり、富士山での自然観察や下草刈りに子供たちを招くことを検討しているという。
ネットワークは会員を募集している。問い合わせは県富士山保全室(054・221・3618)へ。

▼5.30静岡新聞 朝刊

夏山富士 汚さないで



静岡・山梨両県が今年の富士山夏山期間中に、合同で環境保全キャンペーンを展開することと二十九日、富士宮市役所で開かれた富士山環境推進会議で正式に決まった。富士山のトイレ・ごみ・利用者負担対策のため、水解性ティッシュ使用を呼び掛ける配布活動や、トイレマナー啓発を呼び掛けるポスター掲示などを両県挙げて展開する。

山梨と合同キャンペーン

トイレ、ごみマナー訴え

合同開催は、富士山の自然と景観を守り、その恵みを受け継ぐため、平成十年十一月、両県が憲章を制定以来、三回目。菊地忍環境部長や渡辺紀富士宮市長、長田央小山町長、環境庁、建設省、山梨県自治体関係者らが出席した。七月一日から八月三十一日のキャンペーンでは、昨夏の山頂トイレし尿遠投実験の普及向上にも努める。憲章の趣旨やキャンペーン事業内容周知では、関係機関のほか旅行会社、各登山道の売店にも協力を依頼

し、全国的な富士山環境保全の輪を広げる方針。

富士宮で会議

富士山地下水保全への植樹・裾野で250人が参加
5.15 中日新聞朝刊

緑の募金活用・ボランティアら310人
富士山に植樹
5.22 静岡新聞朝刊

富士山麓警察署会議・道迷い多発で、登山口別にカラー看板
5.26 静岡新聞朝刊

ネットワークが総会・富士山の情報発信や活動事業など決める
5.28 中日新聞朝刊

恒例の富士山一斉清掃、今年は8月20日に富士山をいつまでも美しくする会
6.1 静岡新聞朝刊

富士山の表情毎朝更新・御殿場市のホームページ画像公開
6.1 静岡新聞朝刊

富士山南西麓の湧水量は10年前レベル
富士で岳南地下水協
6.9 静岡新聞朝刊

富士山だより・山頂で厳冬の気温が上昇
永久凍土大幅縮小
6.11 毎日新聞朝刊

富士山への思いあなたも表現を
手紙・絵コンクール来月から作品募集
6.15 中日新聞朝刊

毎日新聞「富士山再生キャンペーン」メイン事業
ショー&富士山清掃登山
6.16 毎日新聞朝刊